

1. 事業の位置付け

事務事業名	歴史的建造物保存・活用事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課 文化財保護担当		
予算科目	01-100501-030200	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	04	4 価値ある歴史的遺産を守り伝える環境をつくる	
根拠法令等	文化財保護法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
「旧横浜ゴム平塚製造所記念館」の移築復原工事が終了し、新名称が決定されて開館するとともに、市民に活用されています。		歴史的に価値のある建造物「旧横浜ゴム平塚製造所記念館」を市民の貴重な歴史財産として保存・活用するため、移築復原工事を行い開館します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	完成に向けた打合せ回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			7	12	-			
	実績			32					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	イベント開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			-	-	15			
	実績			-					
成果指標②	指標名	移築復原工事進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：移築復原工事40%、H20：移築復原工事60%（工事費により割合を算出）							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			40	100	-			
	実績			73.4					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
国の登録有形文化財（建造物）である旧横浜ゴム平塚製造所記念館を市民の貴重な財産として八幡山公園に移築・復原工事を進めた。また、平成21年4月の開館に向けて管理運営ワークショップ等も実施し、管理運営の基本方針を検討した。これらにより保存・活用に向けて準備を進めることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	明治時代の歴史的建造物を市民の貴重な財産として、保存・活用するものであり、価値ある歴史的遺産を守り伝える環境づくりのために必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民の歴史的建造物への理解と認識の向上につながり、また、県内でも数少ない明治時代の洋風建造物を平塚の新しいシンボルとして位置づけ、まちの活性化につながることから有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	登録有形文化財の有効活用を図るものであることから妥当である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	管理運営については、指定管理者制度によることを検討し、効率性を高めることとしている。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性、妥当性の評価は高い。また、効率性の部分で、指定管理者制度を活用し、管理運営の効率化を図り、コスト削減にもつなげる。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				移築復原工事	移築復原工事	各種イベントの開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	72,609	23,911	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	46,000	46,000	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	22,439	40,985	0	0	0
事業費 (A)		0	0	141,048	110,896	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	78.86				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.05	1.05	1.05	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	8,811	8,811	8,811	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	149,859	119,707	8,811	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 引き続き、移築・復原工事を進め、平成21年4月に開館し、各種イベントを開催する。	
平成21年度の実行方針	
平成21年4月に開館し、各種イベントを開催する。	
課長コメント	移築・復原工事は、予定どおり平成21年4月の開館に向けて進んでいる。今後、施設の管理運営について具体的な方向を決定する必要がある。